

エコアクション21

# 環境経営レポート

2024年度

(対象期間：2024年3月～2025年2月)



2025年4月19日 発行

西村商事株式会社

## 1. 組織の概要

### (1) 事業所及び代表者名

会社名：西村商事株式会社

代表者名：代表取締役 西村久行

### (2) 所在地

本社及び駐車場：〒278-0051 千葉県野田市七光台 385番地

### (3) 法人設立年月日

昭和46年4月1日

### (4) 資本金

1, 0 0 0 万円

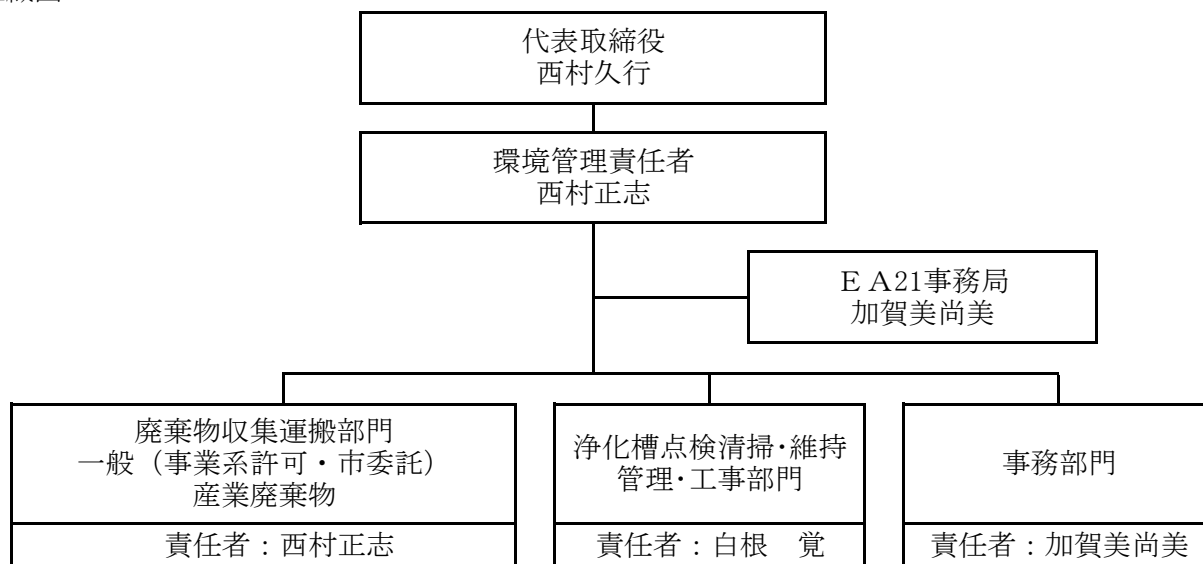
### (5) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：西村正志

担当者連絡先：事務部門担当者（加賀美尚美）

（電話）04-7129-3008 （FAX）04-7129-3383

### (6) 組織図



### (7) 役割・責任

担当	役割・責任・権限
代表者	・環境経営方針の決定 ・環境管理責任者の任命 ・代表者による全体の評価と見 ・必要な経営資源の投入 ・代表者による経営にける課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの確立 ・環境経営システムの実施 ・環境経営システムの維持 ・EA21の活動状況報告
EA21事務局	・環境経営計画の実施 ・月別部門データの集計 ・問題点の把握と是正の実施

## (8) 事業の内容

- ・産業廃棄物収集運搬業（積替保管施設はありません）
- ・一般廃棄物収集運搬業（野田市、柏市、さいたま市）
- ・浄化槽点検・清掃業

## (9) 事業の規模

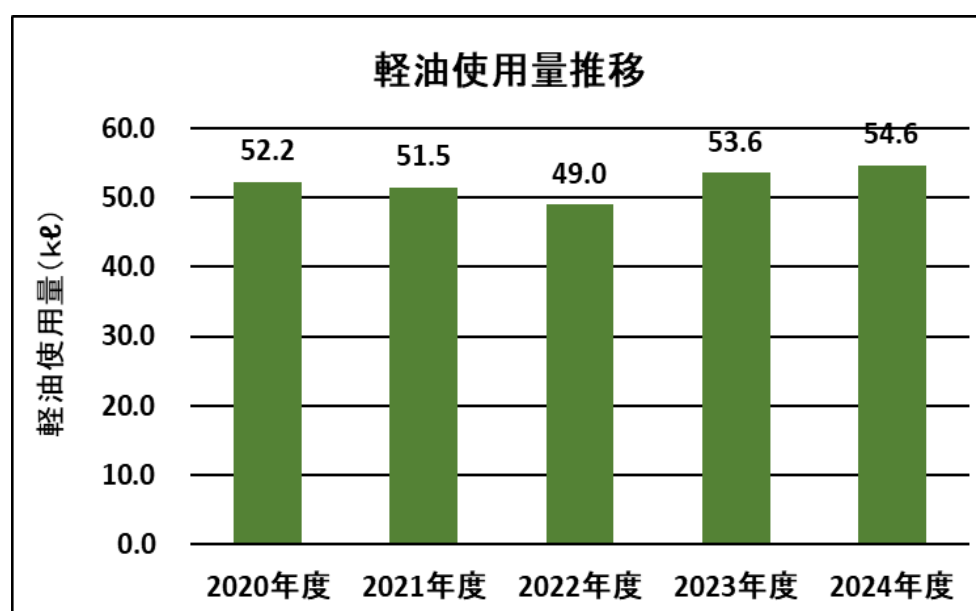
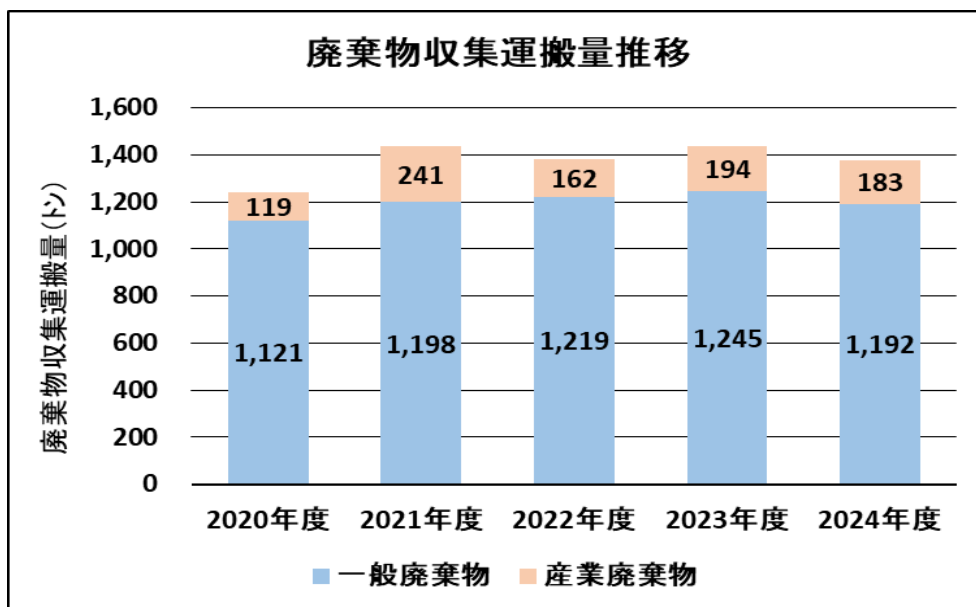
	(2022年3月 ～2023年2月)	(2023年3月 ～2024年2月)	(2024年3月 ～2025年2月)
項 目	2022年度	2023年度	2024年度
売上高(百万円)	266.5	312.2	324.5
従業員(人)	20	20	20
本社床面積(㎡)	165	165	165
敷地面積(駐車場含む)(㎡)	4,300	4,300	4,300
浄化槽点検・清掃請負件数(件)	2,202	1,987	2,121
浄化槽工事請負件数(件)	49	65	67

## (10) 環境への負荷の状況

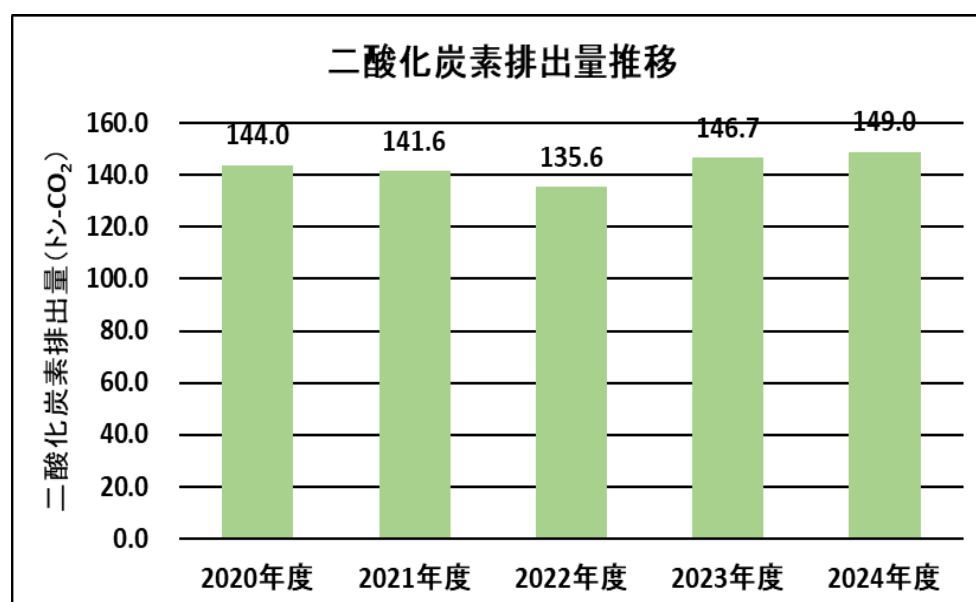
環境への負荷		単位	2022年度	2023年度	2024年度
①温室効果ガス排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	135,602	146,722	149,038
②受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	162	194	183
③受託した一般廃棄物の処理量	収集運搬量	t	1,219	1,245	1,192
④自社廃棄物排出量	一般廃棄物	t	0.8	0.8	0.8
	産業廃棄物	t	0.0	0.0	0.0
⑤-1 総排水量	公共用水域	m <sup>3</sup>	203	176	155
⑤-2 水使用量	水道、地下水	m <sup>3</sup>	203	176	155
⑥化学物質使用量	浄化槽放流処理剤 <sup>※1</sup>	kg	—	825	885
⑦エネルギー使用量	購入電力	kWh	11,284	11,250	11,494
	化石燃料	軽油	ℓ	48,980	53,564
		灯油	ℓ	742	383
⑧物質使用量	資源使用量 (コピー用紙)	kg	198	252	298
	循環資源使用量	t	0	0	0
⑨サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質量	t	0	0	0
	水の利用量	m <sup>3</sup>	0	0	0

※1 浄化槽放流処理剤は塩素系の薬品ですが、PRTR制度対象物質は含有していません。また、使用量は2023年度からの初カウントのため、2021年度、2022年度の使用量は把握できませんでした。

注) CO<sub>2</sub>の排出係数は、2018年12月に環境省が公表した「電気事業者別排出係数」から東京電力エナジーパートナー株式会社の調整後排出係数を使用しました。（調整後排出係数=0.462kg-CO<sub>2</sub>/kWh）



※使用しているエネルギーには軽油のほか電気、灯油がありますが、二酸化炭素排出量全体に占める割合（占有率）は軽油が最も多く、2024年度実績で96.2%を占めています。



## (11) 許認可一覧

## &lt;産業廃棄物収集運搬業の許可の内容&gt;

NO.	都道府県	許可番号	許可年月日及び有効期限	産業廃棄物収集運搬 許可品目 (●印)							
				汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず・陶器くず	がれき類
1	千葉県	01200063074	2024年9月3日 2029年7月29日	●	※1		●		※2	※1	※2
2	埼玉県	01105063074	2022年12月18日 2027年12月17日	●	※2				※2	※2	※2
3	神奈川県	01400063074	2022年9月25日 2027年9月24日	●	※3		●		●	※3	※3
4	東京都	01300063074	2022年3月3日 2027年3月2日		※3		●		※3	※3	※3
5	茨城県	00801063074	2022年4月13日 2027年4月12日		※4	●	●	●	※5	※4	※2

※1 石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物を除く。

※2 石綿含有産業廃棄物を除く。

※3 石綿含有産業廃棄物を含む。

※4 石綿含有産業廃棄物及び自動車等破砕物を除く。

※5 自動車等破砕物を除く。

## &lt;一般廃棄物処理業の許可の内容&gt;

No.	市町村名	許可番号	取扱廃棄物の種類	処理区分	許可年月日及び有効期限
1	野田市	指令第24号 許可番号第10号	浄化槽汚泥、 し尿（仮設トイレ）	収集・ 運搬	2024年7月4日 2026年7月3日
2	野田市	指令第23号 許可番号第15号	一般廃棄物	収集・ 運搬	2024年7月4日 2026年7月3日
3	野田市	指令第156号 許可番号第25号	一般廃棄物 （特定家庭用機器）	収集・ 運搬	2025年4月1日 2027年3月31日
4	柏市	特第20号	ごみ （特定家庭用機器廃棄物 に限る）	運搬・ 荷卸	2025年4月1日 2027年3月31日
5	さいたま市	さいたま市廃許可 第232号	一般廃棄物 （特定家庭用機器廃棄物 のみ）	収集・ 運搬	2025年1月1日 2026年12月31日

## &lt;浄化槽清掃業の許可の内容&gt;

No.	市町村名	許可番号	許可年月日	有効期限
1	野田市	指令第25号 許可番号第10号	2024年7月4日	2026年7月3日

## &lt;浄化槽保守点検業者の登録の内容&gt;

No.	都道府県、市	登録番号	登録年月日	有効期限
1	千葉県（松戸市、野田市、 流山市、我孫子市、鎌ヶ谷 市）	千葉県知事（登10） 東地振第14号	2022年3月15日	2027年3月14日
2	柏市	柏市（登2）第59号	2022年3月15日	2027年3月14日

(12) 一般廃棄物、産業廃棄物施設の状況

①車両

車両形式	最大積載量 (トン)	台数
塵芥車	2.7～3.3	4
脱着装置付コンテナ車	3.9	1
キャブオーバー	2.0～2.3	3
ダンプ車	3.0	1
バキューム車	2.7～3.7	3
合 計		12

注1) 積替保管施設はありません。

注2) バキューム車を除く車両に関しては、一般廃棄物と産業廃棄物の両方に使用しており、それぞれに専用化してはおりません。

(13) 環境保全措置

- ・分別収集運搬を心掛け、作業を迅速に行うとともに搬送時は必ずシート掛けをして飛散防止対策を行う。
- ・ドラム缶などは必要に応じてロープなどで固定して搬送する。
- ・車両や容器などは清潔な状態であるように努める。
- ・収集運搬の緊急時に備えて、従業員に教育活動を行う。
- ・エコアクション21認証を維持する。

(14) 産業廃棄物の収集運搬量実績

単位:(トン)

種類	2022年度	2023年度	2024年度
汚泥	14.4	14.4	14.4
廃プラスチック類	138.7	166.9	151.5
木くず	3.0	12.3	12.8
金属くず	1.7	0.0	3.9
ガラス・コンクリート・陶器くず	3.9	0.5	0.0
合 計	161.6	194.0	182.5

(15) 一般廃棄物の収集運搬量実績 (し尿を含む)

単位:(トン)

種 類	2022年度	2023年度	2024年度
公共(市)からの受託	423.1	422.1	409.8
民間(家庭、企業)からの受託	795.7	822.9	782.2
合 計	1,218.8	1,245.0	1,191.9

(16) 再生資源回収実績

単位:(トン)

種類	2022年度	2023年度	2024年度
金属類等	114.0	95.2	104.6

## 2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

対象事業所： 本社

対象事業活動：一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、再生資源回収業、  
浄化槽点検・清掃業

認証・登録番号：0011358      認証・登録日：2016年7月20日

対象期間：2024年3月～2025年2月

環境活動レポート発行日 2025年4月19日

## 3. 環境経営方針

### 西村商事 株式会社 環 境 経 営 方 針

#### 《 基 本 理 念 》

西村商事株式会社は、産業廃棄物及び一般廃棄物の収集運搬並びに浄化槽の点検・清掃を主たる業務とし、これらの事業を通じて環境にやさしい企業となることを目指しながら、地域の環境保全に貢献します。

またさらに地球温暖化や資源保護の問題を人類共通の重要課題と認識し、より広く環境保全活動に取り組み、循環型社会の構築に貢献します。

#### 《 行 動 指 針 》

1. 具体的に次の項目に、取り組みます。

- ① 収集運搬車両、重機類の使用による燃料や電力を節約し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ② 受託廃棄物の収集運搬量の拡大をはかり、適正処理事業を推進します。
- ③ 浄化槽の保守・点検・清掃による環境保全の知識普及に努めます。
- ④ 分別の徹底により、当社の排出する廃棄物の削減に努めます。
- ⑤ 節水の徹底により、水資源使用の節約に努めます。

これらについて環境経営目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境経営方針及び環境経営活動を全従業員へ周知し、環境経営活動の推進に取り組みます。

制定 平成27年3月1日

改訂 令和3年3月1日

西村商事株式会社

代表取締役 西村久行

#### 4. 環境経営目標

2023年度（2023年3月～2024年2月）の実績を基準とし、2024年～2026年度の3ヶ年中期計画の環境経営目標を設定しました。

##### 2024～2026年度 環境経営目標

No.	環境経営目標項目	※4基準値 (2023年度基準値)	2024年度目標 (2024年3月～ 2025年2月)	2025年度目標 (2025年3月～ 2026年2月)	2026年度目標 (2026年3月～ 2027年2月)
1	電気使用量の削減	13,788kWh/年 (1,149kWh/月)	1%削減 13,656kWh/年 (1,138kWh/月)	2%削減 13,512kWh/年 (1,126 kWh/月)	3%削減 13,380kWh/年 (1,115 kWh/月)
2	軽油使用量の削減	58,840L/年 (4,870 L/月)	1%削減 57,852L/年 (4,821 L/月)	2%削減 57,276L/年 (4,773L/月)	3%削減 56,688L/年 (4,724 L/月)
3※1	受託廃棄物収集 運搬量の拡大	1,036.8t/年 (86.4t/月)	1%拡大 1,047.6t/年 (87.3 t/月)	2%拡大 1,057.2t/年 (88.1 t/月)	3%拡大 1,068.0t/年 (89.0 t/月)
4※2	浄化槽保守点検 清掃作業の苦情 ゼロ	苦情ゼロ	苦情ゼロの維持	苦情ゼロの維持	苦情ゼロの維持
5	自社からの廃棄 物排出量削減	一般廃棄物 (0.8 t/年)	現状維持 (0.8t/年)	現状維持 (0.8t)	現状維持 (0.8t)
6	水使用量の削減	208.8m <sup>3</sup> /年 (34.8m <sup>3</sup> /2ヶ月)	1%削減 207.0m <sup>3</sup> /年 (34.5 m <sup>3</sup> /2ヶ月)	2%削減 204.6m <sup>3</sup> /年 (34.1m <sup>3</sup> /2ヶ月)	3%削減 202.8m <sup>3</sup> /年 (33.8m <sup>3</sup> /2ヶ月)
7※3	(二酸化炭素排 出量の削減)	163,216kg-CO <sub>2</sub> /年 (13,601kg-CO <sub>2</sub> / 月)	1%削減 161.584kg - CO <sub>2</sub> /年 (13,465kg-CO <sub>2</sub> /月)	2%削減 159,952kg - CO <sub>2</sub> /年 (13,329kg-CO <sub>2</sub> /月)	3%削減 158,320kg - CO <sub>2</sub> /年 (13,193kg-CO <sub>2</sub> /月)

※1 廃棄物収集運搬量は、「一般廃棄物」のみの収集運搬量を集計している。（産業廃棄物の運搬量は一般廃棄物の約1割と占有率が低いため）

※2 浄化槽の保守点検清掃業務は本業の一部だが、顧客との信頼関係が大切なことから、2017年度からテーマアップしている。

※3 二酸化炭素排出量の削減テーマについては、電気と軽油の使用量削減テーマとして推進しており、間接的な目標値としている。因みに排出量の占有率は軽油使用によるものが全体の約96%を占める。

※4 2023年度基準値は、ばらつきを考慮して2023年度のデータ平均値（X）に2s（標準偏差）分を加減した数値を基準値とした。

#### 5. 環境経営計画（主な施策）

##### ① 電気使用量の削減

- ・空調の適正温度管理
- ・節電教育の実施

##### ③受託廃棄物の収集運搬量拡大

- ・顧客への啓蒙活動とPRの推進

##### ② 軽油使用量の削減

- ・エコドライブの推進
- ・配車の最適化 ・アイドリングストップの励行

##### ④浄化槽保守点検清掃作業の苦情ゼロ

- ・保守・点検・作業標準の作成
- ・作業後チェックの徹底

##### ⑤ 自社からの廃棄物排出量削減

- ・失敗コピーの削減
- ・コピー用紙の裏紙再利用

##### ⑥ 水使用量の把握

- ・メータ設置検討と貸主（大家さん）への働きかけ



## 6. 環境経営目標の実績

No.	環境経営目標項目	基準値 (2023年度 基準値)	2024年度目標 (2024年3月～ 2025年2月)	結 果 (2024年度)	評価
1	電気使用量の削減	13,788kWh/年 (1,149 kWh/月)	1%削減 13,656kWh/年 (1,138 kWh/月)	目標比15.8%削減 11,494kWh/年 (958kWh/月)	○
2	軽油使用量の削減	58,440 L/年 (4,870 L/月)	1%削減 57,864L/年 (4,822 L/月)	目標比5.7%削減 54,546/年 (4,564 L/月)	○
3	受託廃棄物の収集 運搬量の拡大	1,036.8 t/年 (86.4 t/月)	1%拡大 1,047.6t/年 (87.3 t/月)	目標比13.8%拡大 1,191.9 t/年 (99.0 t/月)	○
4	浄化槽保守点検清 掃作業の苦情ゼロ	苦情ゼロ	苦情ゼロの維持	苦情ゼロ	○
5	自社からの廃棄物 排出量削減	一般廃棄物 (0.8 t/年)	現状維持 (0.8t/年)	現状維持 (0.8t/年)	○
6	水使用量の削減	208.8m <sup>3</sup> /年 (34.8m <sup>3</sup> /2ヶ月)	1%削減 207.0m <sup>3</sup> /年 (34.5m <sup>3</sup> /2ヶ月)	目標比23.2%削減 159.0m <sup>3</sup> /年 (27.0 m <sup>3</sup> /2ヶ月)	○
7	二酸化炭素排出量 の削減	163,216kg-CO <sub>2</sub> /年 (13,601kg-CO <sub>2</sub> /月)	1%削減 161,584kg-CO <sub>2</sub> /年 (13,465 kg-CO <sub>2</sub> /月)	目標比7.8%削減 149,038kg-CO <sub>2</sub> /年 (12,420kg-CO <sub>2</sub> /月)	○

※評価の目安：○ … 目標達成 × … 目標未達成

### 【評価】

#### 1. 電気使用量の削減

電気使用量は目標1%削減の13,656kWh/年（1,138kw/月）に対して、15.8%削減の11,494 kWh/年（958kw/月）で、目標を達成することができました。

2023年度実績を基に目標値の試算をし直しましたので、新3か年計画の初年度を問題なく終えれたと思っています。次年度は目標値がさらに厳しくなりますので、取りこぼしの無いように月次管理をしっかり行っていきます。

#### 2. 軽油使用量の削減

軽油は目標値57,864L/年（4,822 L/月）に対して5.7%削減の54,546 L/年（4,564 L/月）で、目標を達成できました。

通年を通して活動を見ますと、単月目標で目標未達が散見（2回）されます。昨年は目標未達成で終えたテーマですので油断することなく、次年度も進捗していきます。

#### 3. 受託廃棄物の収集運搬量の拡大

目標1,036.8 t/年（86.4 t/月）に対して、13.8%拡大の1,191.9 t/年（99 t/月）で目標を達成しました。しかし、累積目標は年間を通して目標を達成しましたが、直近の2か月の単月目標値が未達成となっています。これは得意先の契約変更により1社減ったことが要因と判断しています。

したがって、次年度は事業環境が縮小した状態でのスタートとなりますので、積極的に先手を打った活動に努め、推進していきます。

#### 4. 浄化槽保守点検清掃作業の苦情ゼロ

浄化槽の保守点検清掃作業におけるお客様等利害関係者からの苦情は、1年間ゼロを続けることができました。今後も継続します。

#### 5. 自社からの廃棄物排出量削減

裏紙を再利用したり、両面印刷の機能を積極的に活用し、自社からの紙ごみの排出量抑制

に努めています。今後も維持管理に努めます。

#### 6. 水使用量の削減

節水教育と適正使用が定着し、目標207.0m<sup>3</sup>/年（34.5m<sup>3</sup>/2ヶ月）に対して、23.2%削減の159.0m<sup>3</sup>/年（27.0 m<sup>3</sup>/2ヶ月）で水使用量の削減活動は問題なく目標を達成しました。今後も継続して行きます。

#### 7. 二酸化炭素排出量の削減

目標161,584kg-CO<sub>2</sub>/年（13,465 kg-CO<sub>2</sub>/月）に対して、目標比7.8%削減の146,722kg-CO<sub>2</sub>/年（12,420kg-CO<sub>2</sub>/月）で、目標を達成できました。

CO<sub>2</sub>の削減テーマは事業拡大とはトレードオフの関係にありますので、今後も注意深く推進して行きます。

### 7. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境経営活動計画の内容	評価点	取組結果と次年度の取組内容
事業活動へのインプットに関する項目		
水使用量の把握、節水教育	5	従業員に節水意識の向上を呼びかけており、浸透している。来年度も引き続き節水を徹底する。
受託廃棄物の収集運搬量拡大	5	顧客の開拓に努めている。来年度はさらに新規受注を増やすよう推進する。
事業活動からのアウトプットに関する項目		
節電教育	5	節電表示に取り組み、さらに教育強化した。今後も継続する。
電気設備適正使用	5	適正に使用しており、今後も継続推進する。
軽油使用量削減（エコドライブ等）	4	徹底して取り組んでいる。今後も継続推進する。
自社廃棄物の排出量削減	5	徹底して取り組んでいる。今後も継続推進する。
環境経営システムに関わる項目		
顧客訪問及び新規顧客の獲得	5	顧客の開拓に努めている。来年度はさらに新規受注を増やすよう推進する。
法規制の管理	5	定期的に順守評価を実施している。今後も継続して推進する。
従業員教育	4	意識向上のための教育を実施している。今後も継続して推進する。

（評価点） 5点：90%以上 4点：70%以上 3点：50%以上 2点：30%以上 1点：30%未満  
（スケジュールに対する進捗度、目標値に対する達成度、取組み内容の適切性、及び推進担当者の積極性等を総合的に判断した官能評価である。）

### 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

2025年2月に環境法令の遵守状況を確認しましたが、法令違反はなく問題ありませんでした。主な環境法令は下記の通りです。

- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律・小型家電リサイクル法・道路運送車両法・浄化槽法
- ・ 貨物自動車運送事業法・消防法・フロン排出抑制法

なお、過去5年間、関係当局からの違反及び近隣からの苦情等の指摘はなく、また訴訟もありません。

### 9. 代表者による全体の評価と見直しの結果

今年度は新3か年計画の初年度活動でしたが、目標の未達成はなく問題なく活動を終えることができました。次年度はの目標値はさらに厳しくなりますので、慎重に進捗していきます。

なお、2024年度活動において下記項目の変更はありません。

- ・ 環境経営方針
- ・ 環境経営目標及び環境経営計画
- ・ 実施体制